

いつもなにかがあたらしい
東京ニューシティ管弦楽団 第101回定期演奏会

2015年9月12日【土】14:30開演 13:30開場

Saturday 12 September 2015 14:30start (13:30open)
Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall

東京芸術劇場
コンサートホール

25th
おかげさまで25周年!

tnco
TOKYO NEW CITY ORCHESTRA

永年に亘り誰にも気付かれなかった名曲の
誤った演奏慣習や楽譜の大きな誤り等
歴史上の分厚い埃を取り払い
それらの曲の真の姿を浮き彫りにし
世界に発信し続ける
指揮者・内藤彰の
信念と挑戦!!



「世界初演シリーズ 再演・No.2」

東京ニューシティ 管弦楽団

TOKYO NEW CITY ORCHESTRA

指揮:内藤 彰 合唱:東京合唱協会
Conductor: AKIRA NAITO Chorus: TOKYO CHORAL SOCIETY

指揮者、内藤彰によるプレトークあり(13:45~14:15)

半音違うファンファーレ、4小節続く誤った和音
重要なシンバルが半拍ずれ等々
世界に蔓延する無数の誤りを自筆譜が内藤に直訴!
今世界の耳に新しい名曲の本当の響きが!

ドゥヴォジャーク

Antonín Leopold Dvořák

交響曲第9番

「新世界から」

Symphony No.9 in E Minor, Op.95, B.178,
"From the New World" **ホ短調**

お寺の鐘から中国の銅鑼の音がジャーン!等世界中で意味分からず誤って鳴らされてきた
哀しく滑稽な日本の鐘の音。日本人指揮者しか出来ないの想いが、
内藤をしてプッチーニの想いに従った日本の鐘を作らせ、世界に発信する!

プッチーニ

Giacomo Puccini

歌劇「蝶々夫人」からハイライト

Opera "Madame Butterfly"



蝶々夫人
登川穂子(ソプラノ)
NAOKO TOGAWA (Soprano)



ピンカートン
ロマン・ムラヴィツキー(テノール)
ROMAN MURAVITSKY (Tenor)



スズキ
石川紀子(メゾソプラノ)
NORIKO ISHIKAWA (Mezzosoprano)



シャープレス
星野 淳(バリトン)
JYUN HOSHINO (Baritone)



僧侶
押川浩士(バリトン)
HIROSHI OSHIKAWA (Baritone)

ゴロー
栗原 剛(バリトン)
TSUYOSHI KURIHARA (Baritone)
神官
北川辰彦(バリトン)
TATSUHIKO KITAGAWA (Baritone)
合唱:東京合唱協会

S席:6,500円/A席:5,000円/B席:3,500円/C席:2,500円
学生半額(25歳以下、S席除く)/ジュニア券:1,100円(保護者同伴、S席除く)
シニア割引:10%引き(60歳以上)
友の会会員:10%引き(随時入会受付、年会費500円)

※上記割引については事務局までお問い合わせ下さい。
※未就学児のご入場はご遠慮ください。※やむを得ず、出演者・演目が変更になる場合がございます。ご了承ください。

助成:文化庁文化芸術振興費補助金 (トップレベルの舞台芸術創造事業) **5月18日(月)一般発売開始!!**

東京ニューシティ管弦楽団事務局 (土・日・祝を除く10時から18時)
チケットデスク:03-5933-3266 FAX:03-6766-3782
ホームページからお申込みいただけます。http://tnco.or.jp

チケットぴあ:(Pコード252-908)TEL.0570-02-9999 http://pia.jp/t/
東京芸術劇場ボックスオフィス:TEL.0570-010-296(ナビダイヤル)
東京文化会館チケットサービス:TEL.03-5685-0650 http://www.t-bunka.jp
イープラス:http://eplus.jp/(パソコン&ケータイ)
主催:一般社団法人 東京ニューシティ管弦楽団
後援:公益財団法人としま未来文化財団

料金(全席指定)

お申込・お問い合わせ



内藤 彰 (指揮) AKIRA NAITO

名古屋大学理学部卒業後、桐朋学園大学研究科(指揮専攻)修了。(社)山形交響楽団の専属指揮者を務めた後、日本の多くの主要オーケストラをはじめ、ヨーロッパや中米等の各国立、州立交響楽団や国立歌劇場等を指揮してきた。2004年1月の定期公演「歌劇『蝶々夫人』」公演では、今までお寺の鐘から中国の銅鑼がジャンと鳴っていた滑稽な過ちを世界で初修正、他にも楽譜に指定された風鈴や鉦、仏壇のおりん(鈴)等日本の伝統的「かね」に音程を付け、「本当の蝶々夫人」を世界初演した。ブルックナーの交響曲第3～9番の新稿世界初演を果たすと共に、ブルックナーの意思に大きく反する誤ったテンポ慣習等を修正、その根拠論文とCDは本家ロンドンのブルックナージャーナル誌でも驚きをもって報じられ、その後の世界の演奏慣習に影響を与え始めた。また、ドヴォルジャーク作曲【新世界から】や、シベリウス作曲【フィンランディア】の楽譜に残された主旋律の誤り等、世界中で間違っていた演奏されてきた無数の驚くべき誤りを、詳細な根拠を示して修正し世界初演した。これらは近々出版される。現在、東京ニューシティ管弦楽団及びプロ混声合唱団「東京合唱協会」芸術監督、日本指揮者協会幹事。



東京ニューシティ管弦楽団 TOKYO NEW CITY ORCHESTRA

1990年設立。設立者は芸術監督の内藤彰。第1回定期演奏会を東京文化会館にて行ない、楽団の活動が公にスタートした。

定期演奏会、名曲コンサート、オペラ、バレエ、音楽鑑賞教室、レコーディングなど幅広く活躍してきている。なかでも定期演奏会では「いつも なにかが あたらしい」をキャッチフレーズに、最新の音楽的な研究成果をいち早く取り入れたプログラミングに定評があり、作曲家が生きていた時代の奏法なども積極的に取り入れるなど、その斬新かつ意欲的な内容は話題をよんでいる。また近年では、日本人作曲家の楽曲を少しずつでも後世に繋いでいくことを使命と感じ、邦人曲の演奏もたびたび行なっている。

次世代の子どもたちへの音楽教育にも力を入れており、音楽鑑賞教室、ワークショップなども積極的に進めている。クラシックのみならず、パート・バカラクをはじめとして、さだまさし、ASKA、平原綾香、水樹奈々など、ポピュラー分野でも幅広い活動をし、それぞれに評判がよく、多くの皆様に親しまれている。最近で

は、ロック歌手 スティングや イル・ディーポのジャパニーズ・ツアーに参加し、数多くの観衆を魅了した。また、NHKテレビドラマ「坂の上の雲」や映画「悪人」などの音楽の収録を行なうなど、あらゆるジャンルに対応しうる体制を整えてきている。

現在、本拠地を練馬に構え、地元にも貢献できるオーケストラを目指し、取り組みを進めている。2006年には(社)日本オーケストラ連盟に加盟、2011年正会員に昇格。2007年に初の中国上海公演、2009年にはベトナム公演を行い、大成功を収める。2015年4月には創立25周年を迎え、さらなる発展を目指している。 <http://tnco.or.jp>

登川直穂子
ソプラノ
NAOKO TOGAWA

国立音楽大学、東京芸術大学に学ぶ。2006年よりローマ在住。2008年ローマでのリサイタルが大成功し、新聞記事4社で「作曲家ごとのスタイルを歌い分けた」という批評記事が掲載される。2009年ロンドンリサイタル、その後、ウィーン、プタペスト、ミラノなどのヨーロッパ各地でコンサート出演。2009年11月ローマの劇場で「蝶々夫人」に3回出演、ミラノの経済新聞を含めた合計11社に好評記事が掲載される。2012年ロンドンとウィーン、2013年モスクワで「蝶々夫人」ハイライト出演。

2011年より、ローマイタリア軍主催の宗教曲ソロコンサートに5回出演、今後も予定されている。

日本では2001年「魔笛」でオペラデビュー。2012年1月「アドリアーナ・ルクヴルール」(チレア)タイトルロール主演、2012年12月「マリア・ストゥアルダ」(ドニゼッティ)タイトルロール主演(主催団体オペラ彩に対して三菱UFJ信託音楽賞受賞)

ロマン・ムラヴィツキー
テノール
ROMAN MURAVITSKY

ポリショイ劇場のオペラ歌手、ロマン・ムラヴィツキーは30以上のオペラのレパートリーを持ちイタリア歌曲、ロシア歌曲、フォークソング、世界の民謡までロシア国内はもちろん、海外でも常に多くの聴衆の心を満たし高い評価を得ている。

1989-1992年ナデジダ・ヴァシレヴナの下で研鑽をつみ、イルクーツク国立音楽劇場で本格的に歌手としての活動をスタートした。1992年国立モスクワ音楽院に入学しエフゲニー・キヴカロ教授の下で学び、1996年には学生でありながらスタニスラフスキー・ネミロヴィッチ・ダンチェンコ記念モスクワ音楽劇場のソリストとして招かれ、1997年に国立モスクワ音楽院を卒業。2002年ポリショイ劇場に招かれムソルグスキー作曲オペラ「ホヴァンスチーナ」プッチーニ作曲オペラ「トゥーランドット」で高い評価を得、翌2003年正式にポリショイ劇場に入団。2010年ロシア政府よりロシア功労芸術家の称号を授与される。

石川紀子
メゾソプラノ
NORIKO ISHIKAWA

東邦音楽大学卒業。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了。

1998年より渡米。「魔笛」侍女Ⅲ・童子Ⅲ「ルチア」アリエーザ「フィガロの結婚」ケルビーノ「リゴレット」マッダレーナ等オペラ出演の他、多くのコンサートに参加。帰国後、文化庁本物の舞台芸術体験事業「カルメル」メロデス「魔笛」侍女Ⅱ他、「カルメル」タイトルロール「蝶々夫人」スズキ「カヴァレリア・ルスティカーナ」ローラ「コシ・ファン・トゥッテ」ドラベッラ「アドリアーナ・ルクヴルール」ダンジュヴィル「マクベス」夫人の侍女等のオペラや「こもり」オルロフスキー「メリー・ウィドウ」ヴァランシェンヌ「伯爵令嬢マリツァ」リーザ等、オペレッタにも出演。また「第九」ソロの他トラエッタ・オペラ・フェスティバルにて「スターバト・マーテル」アルト・ソロを歌い好評を博す。

ヨーロッパではロンドン、ウィーン、モスクワ、ローマにてコンサート出演。藤原歌劇団準団員。

星野 淳
バリトン
JYUN HOSHINO

北海道大学理Iを経て北海道教育大学札幌分校特設音楽科を卒業。二期会オペラスタジオ第34期研究生修了、優秀賞を受賞。平成4年度文化庁芸術インターンシップ研修員。

二期会オペラでは「学生王子」「ジャンニ・スキッキ」「コシ・ファン・トゥッテ」「こもり」「ヘンゼルとグレーテル」「ダフネ」の他に「メリー・ウィドウ」では2度にわたってダニコを主演し、「故立川清登氏を彷彿させるダニコ」と絶賛された。新国立劇場には「カルメン」「セビリアの理髪師」「道化師」「トリスタンとイゾルデ」「ヴォツェック」「光」「愛怨」「黒船」「沈黙」「蝶々夫人」「ベレアスとメリザンド」「ジークフリートの冒険」「バルジファルと不思議な聖杯」そして今年6月には「鹿鳴館」清原役と、何れも大役を演じている。イタリアのプッチーニ音楽祭では、三枝成彰「Jr. バタフライ」の超難役の詩人を唯一イタリア語で演じ切り、満場のスタンディングオーベーションの喝采を浴びた。東京二期会会員。

押川浩士
バリトン
HIROSHI OSHIKAWA

大分県立芸術文化短期大学声楽科卒業。国立音楽大学声楽科卒業。同大学院オペラコースを修了。第70回読売新人演奏会等に出演。

これまでに「フィガロの結婚」「ラ・ボエーム」「コシ・ファン・トゥッテ」「ドン・ジョヴァンニ」「ジャンニ・スキッキ」「メリー・ウィドウ」「こもり」「道化師」「ヘンゼルとグレーテル」「カルメル」「夕鶴」「サウンド・オブ・ミュージック」「マイ・フェア・レディ」など、多くのオペラ、オペレッタ、ミュージカルに出演する。2011年「セビリアの理髪師」フィオレロ役で藤原歌劇団デビュー。同年「バルジファルと不思議な聖杯」アンフォルタス役に新国立劇場初出演。2010年イタリア留学中にアレツォ市のコンクールに優勝してオペラ「ラ・ボエーム」マルチェッロ役にてイタリアデビューを果たす。

これまで、宮本修、田島好一、牧野正人、カルロ・メリチャーニの各氏に師事。藤原歌劇団所属。洗足学園音楽大学非常勤講師。オフィシャルホームページ <http://www.geocities.jp/figarettino/>

チケット
お申込み
について

事務局チケットダイヤル でのお申し込み
Tel.03-5933-3266
※平日10:00~18:00
FAX:03-6766-3782 E-mail:ticket@tnco.or.jp

ネットでのご予約も
座席指定が可能になりました!
<http://tnco.or.jp>
※会員登録(メールアドレスとパスワード)が必要です。(無料)

- ファミリーマートで代金決済・チケット受取ができます。
- クレジットカードでの決済も可能になりました。
- 事務局よりチケットを送付することもできます。
- ※どの場合も所定の手数料をご負担いただきます。